

里山等多様な森林の育成管理技術についての研究

平成12年度～16年度（県単）

谷 秀司

近年、森林の機能に対する要求は多様化してきてくる中で、その機能発揮のための森林の育成方法についても従来の育林技術だけでなく、より多様な管理を可能とする技術が求められてきている。一方では、適正な管理が行われない不良森林が多く見られるようになってきている。

今後、里山をはじめ、身近な自然環境である森林を適正に育成管理していくために、その実態を把握するとともに、多様な育成管理技術を確立していくための資料を得るため実態調査等を行った。

1. 里山実態調査

調査は、土地分類図（三重県、昭和50年）の地形分類図において、丘陵地、台地、低地と山麓地に該当する地域を里山地域とし、その中にある森林を対象とした（但し、都市計画区域は除く）。また、区域内の森林を、現存植生図（環境庁、昭和56, 60, 62年）をもとに、森林類型ごとに区分し、それぞれのタイプごとに現地調査を行った。

現地調査は、それぞれの森林において、0.1haの円形プロットを設定し、概況調査、上・中層木毎木調査、下層植生調査を実施した。

表 - 1 里山実態調査対象面積及び現地調査箇所数

森林類型区分	調査対象面積:ha	割合:%	調査箇所数	備 考
スギ・ヒノキ植林	38,746	34.1	19	
アカマツ植林	33,544	29.5	10	
アカマツ群落	16,967	14.9	12	
シイ・カシ萌芽林	12,682	11.2	13	
クヌギ・コナラ群落	2,967	2.6	18	
ウバメガシ - トベラ群集	1,235	1.1	4	
スダジイ - ミミズバイ群集	1,213	1.1	2	
ススキ群団	1,029	0.9	3	
モウソウ竹林	953	0.9	12	隣接林分への侵入状況調査を含む
クロマツ植林	718	0.6	4	
アカシデ - イヌシデ群落	483	0.5	1	
ツブラジイ - サカキ群集	466	0.4	2	
イチイガシ群落	245	0.2	1	
ヤダケ - メダケ群落	170	0.1	1	
竹林	162	0.1	4	
アカガシ群落	123	0.1	2	
ケヤキ群落	4	0.0	-	
その他	1,900	1.7		
（原野・河畔林）			2	
（ハンノキ林）			2	
（カナムチ・コジイ群落）			3	
合 計	113,607	100.0	115	

今後、この実態調査結果をもとに、三重県の里山地域における森林の林分特性を解明し、各森林類型ごとのモデル森林の設定や整備指針について検討していく。

2. 不良林分実態調査

早急に整備が必要な森林等の実態を調査するため、次のとおり現状調査を実施した。

平成13年度は、さらに伐採跡放棄地も加え、調査を行うとともに、その更新、整備手法について検討していく。

区 分	調査地及び調査箇所数	備 考
林地開発跡地	久居市ほか（10カ所）	
マツクイムシ被害跡地	上野市ほか（10カ所）	
シイ・カシ萌芽林	南島町（1カ所）	